



2023年6月28日

各 位

会 社 名 株式会社リビングプラットフォーム  
代表者名 代表取締役 金子 洋文  
(コード番号：7091 東証グロース)  
問 合 せ 先 財務経理部 部長 下 平 直  
( TEL. 0570-01-7787)

## 上場維持基準への適合に向けた計画に基づく進捗状況

当社は、2021年12月22日に、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を提出し、その内容について開示しております。

2023年3月31日における計画の進捗状況について、下記の通り作成しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 当社の上場維持基準の適合状況の推移及び計画期間

当社の2023年3月31日時点における東京証券取引所グロース市場の上場維持基準への適合状況は下表のとおりとなっており、経過措置の適用が2025年3月末に終了することから、計画期間を2027年3月末から2025年3月末に変更しております。株主数、流通株式数及び流通株式時価総額は基準に適合しておりますが、流通株式比率については基準に適合していません。当社は、今回不適合となった各上場維持基準を充たすために、上場維持基準への適合に向けた各種取り組みを進めてまいります。

		株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の適合状況及びその推移	2021年6月末時点※1	—	3,003 単位	9.2 億円	19.5% (2021年9月末時点：22.2% ※2)
	2023年3月末時点※1	1,030 人	10,572 単位	17.2 億円	23.5%
上場維持基準		150人以上	1,000 単位以上	5 億円以上	25%以上
計画期間					2025年3月末まで
計画書に記載の事項					○

※1 当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

※2 2021年9月末時点の株主名簿等により算出した数値となります。移行基準日と比して流通株式比率が増加した理由は、事業法人等による当社株式売却により、流通株式と認められる株主が増加したためです。

## 2. 上場維持基準の適合に向けた取組の実施状況及び評価（2021年12月～2023年3月）

### （1）流通株式比率について

#### 取組の実施状況

2021年12月22日開示の計画において、流通株式比率の改善について、①事業法人等による当社株式の促進、②IR活動等の促進を取組として挙げておりましたが、具体的な実施状況といたしましては、既存の開示資料に加え、新たな資料として中期経営計画（2022年8月以降）、英語での決算短信および決算説明資料（2022年2月以降）等を発表し、開示内容の充実を図っております。また、当社ウェブサイトについても2022年9月に大幅改良を行い、開示情報をより明確にした他、日本語に加えて英語のページを追加し、海外投資家への情報開示も積極的に行っております。

#### 取組に対する評価

上記取組により、当社ウェブサイトへの訪問は対前年で34%増加、IR情報の閲覧は25%増加しており、認知度の向上に寄与しているものと考えております。

引き続き、上場維持基準の適合に向けて取組んでまいります。

## 3. これまでの状況を踏まえた課題及び取組

### （1）流通株式比率について

#### 今後の課題

グロース市場の上場維持基準を充たしていない流通株式比率については、当社が投資対象として十分な流動性とガバナンス水準を備えた会社であることを示すことが重要であると認識しており、事業法人や役員等（以下、「事業法人等」という）の所有する株式比率について、速やかに改善できるよう取り組んでまいります。

#### 取組内容

##### ①事業法人等による当社株式の市場売却促進

更なる企業価値の向上を図りつつ、事業法人と協議を行ったうえで、所有している当社株式の売出しや立会外分売を促してまいります。また、将来の成長に向けて、経営方針の安定が求められるため、現時点においては、役員が一定の割合を保有することが重要と考えておりますが、将来的には役員の所有する当社株式を縮小し、流通株式比率の改善に努めてまいります。

##### ②IR活動等の促進

当社ホームページにおいて、中期経営計画や業績ハイライト、マンスリーレポート等の情報を継続的に発信するとともに、コーポレートコミュニケーション体制の構築を進め、IR（インベスターリレーションズ）、SR（シェアホルダーリレーションズ）、PR（パブリックリレーションズ）の充実を図り、当社の認知度を向上させる施策に取り組んでまいります。

以上